

神奈川県立柏陽高等学校における学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を次のとおりに開催した。

審議会等名称	神奈川県立柏陽高等学校 令和7年度 第3回学校運営協議会
開催日時	令和8年3月2日(月) 15:00～:
開催場所	神奈川県立柏陽高等学校 大教室
[役職名] 出席者	<p>[委員] 川口 吉秋 (元県立高等学校校長)</p> <p>松永 朋美 (横浜市栄区長)</p> <p>佐藤 俊作 (横浜市消防局栄消防署長)</p> <p>湊 浩一 (横浜市立本郷中学校長) 欠席</p> <p>一杉 太郎 (東京大学大学院教授) 欠席</p> <p>細田 利明 (栄区連合町内会自治会会長)</p> <p>中西 亮 (PTA 会長)</p> <p>會田 勉 (柏陽高等学校長)</p> <p>[事務局] 小野 亜希子 (副校長)、鈴木 克俊 (教頭)、澁田 恵美 (事務長)、 中島 良光 (総括教諭)、水戸 瑞樹 (総括教諭)、 目黒 梓 (総括教諭)、市田 尚史 (総括教諭)、 万年 美喜子 (総括教諭)、三角 峻 (総括教諭)、伊東 明宏 (教諭)</p>

～開会～

## 1 校長あいさつ

〈會田校長〉2月17日学力検査があり、2月27日に合格者の発表があった。1.5倍を超える倍率は本校への期待の表れだと思うので、次年度の準備をしっかりと進めていきたい。

今週金曜日には、卒業式が控えている。312名が卒業する。後ほど進路指導グループの市田から説明があるが、国公立大学の結果についてはまだ発表待ちである。

本校が期待されているところは非常に大きいので本日はぜひ奇譚のないご意見をいただきたい。

## 2 協議

### (1) 令和7年度の教育活動と学校評価について

[各グループによる説明]

グループ	説明者	概要
総務・管理	中島 総括教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月から健康管理のためにHR教室に加湿器を導入した。</li> <li>・学校防災活動マニュアルの野生動物の項目について更新した。</li> <li>・学校運営協議会は年3回実施する。</li> <li>・電子黒板の導入に伴い研修、準備を行った。</li> <li>・スグールの導入。</li> </ul>
研究・広報	水戸 総括教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本郷中学校の先生方に本校の授業を見てもらった。本校初の試み。</li> <li>・科学と文化(総合的な探究の時間)のポスターセッションをおこなった。</li> <li>・学校説明会の数を昨年度より増やし、今年度は4回行った。科学と文化の学校外での</li> </ul>

		<p>発表者は現状 2 名。今後まだ伸びる見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校からの依頼で学校説明会を実施している。</li> </ul>
教務・学習	目黒総括教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善について、今年度は全教科の教員が集まって他教科の授業を見学する取り組みを行った。生成 AI の扱い方等についても議論をすることができた。</li> <li>・授業評価すべての項目で 3.25 を上回った。</li> </ul>
進路指導	市田総括教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年通り 10 名程度が総合型選抜で合格した。総合型選抜の受験者数は既卒生も増えている。</li> <li>・国公立大学に合格した 18 名のうち総合型選抜が 4 名、例年、早稲田大学の合格者が慶応義塾大学の合格者に比べて多いが、今年度は、慶応義塾大学の合格者が多い。</li> <li>・共通テスト直前の進路説明会については電子黒板を活用した。</li> <li>・出願指導検討会のさらなる充実を図っていきたい。</li> </ul>
生活支援	三角総括教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーについては、一度つながると継続利用するケースが多い。</li> <li>・子どもだけでなく保護者の助けにもなっている。</li> <li>・スクールソーシャルワーカー(以下、SSW)については、利用は少ないがフリースポットの活用が生徒の居場所づくりになっている。</li> <li>・生徒の支援を大切にしていきたい。</li> </ul>
活動支援	万年総括教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育祭は天候が不安定な中、PTA のご協力のもと生徒の主体的な動きをもって成功することができた。</li> <li>・文化祭は現金のみで実施したが事故なく終えることができた。</li> <li>・書道部のパフォーマンスが地域貢献活動として今年度は顕著であった。</li> </ul>

#### [質疑応答]

質問は特になし。

<松永様>計画的なサポートのお陰で多くの項目で達成できている。地域の活動に多くの部活動に参加していただき感謝している。このような地域との連携について評価の欄に書かれていないので、できるところなら明文化してほしい。

<佐藤様>人命救助において救急教室で得た知識が実際に役立つような事例が最近起きている。今後も研修を続けてほしい。写真部には今年もお世話になった。

<細田様>文化祭について他の高校や中学校の生徒が足を運んでいるのを多くみた。より多くの栄区の中学生が柏陽高校へ進学してくれると地域との連携がより根付いてくるのではないかと期待している。本郷の森のコンサートに吹奏楽部が参加し、盛り上げてくれた。地域との連携がますます増えていくと嬉しい。

<中西様>先生方の進路関係のサポートが手厚い。共通テストの会場に校長や先生方が激励に来てくれた。保護者が学習支援に携われる機会がもっと増えてほしいと思う。文化祭の熱量が他校と比べてもすごい。地域との連携の機会が増えている。

<川口様>計画、準備を先生方が大切にしながら生徒にいきいきと活動させることができている。生徒主体の活動を今後も大事にしてほしい。スクールカウンセラーにつながりやすい環境づくりを今後も進めてほしい。授業を大事にすることが他の活動にも良い影響を与えている。授業評価について教科間や項目間のばら

つきが少ない。地域との連携活動をもっとアピールしてほしい。「授業の柏陽」というキャッチフレーズは本物だと感じた。

<松永様> 学年による違いについて、1年生に比べて2, 3年生で学校生活アンケートの点数が上がっているのは毎年の傾向だろうか。

<三角> 学校としての取り組みに学年間で大きな差はない。学年やクラスによって雰囲気がかなり違うと感じる。生徒の個性に合わせて主体的な動き出しを待つ姿勢を大切にしている。

<目黒> 前回の学年に比べて今の学年のほうがおとなしい印象がある。学年によって色が違うのでそこを理解して教員の働きかけ方を工夫している。

令和7年度の学校評価については、今回の会議でいただいたご意見をもとに学校評価報告書を作成する。

### 3 事務局より

<小野副校長>

本日の議事録については、後日公開する。

#### (1) 今後の日程について

新年度に改めて調整させていただく。

#### (2) その他

<會田校長>

今年度については相談体制を充実させてきた。深刻な案件もあるので真摯に向き合っていきたい。

授業の柏陽を今後とも大切にしていきたい。

～閉会～

今後の検討事項	
主な会議資料	・ 次第 ・ 2026年度入試柏陽高校大学合格者数 ・ 柏陽高校の教育活動について
問合せ先	柏陽高等学校 副校長 小野 亜希子 電話番号 045(892)2105